

安全データシート

作成日 : 2013 年 5 月 13 日, 改訂日 : 2017 年 1 月 18 日

1 製品及び会社情報	
製品の名称	オートシーラー 101A ノンブリード
推奨用途及び使用上の制限	建築用シーリング材
会社名	オート化学工業株式会社
住所	東京都台東区上野 5-8-5
電話番号	03-5812-7310
緊急連絡先	生産本部 環境品質保証部 029-831-0913 (ファックス番号 029-831-0923)

2 危険有害性の要約				
重要な危険有害性及び影響		健康有害性	眼に対する刺激性あり。	
		環境有害性	水中生物への毒性あり	
GHS 分類	物理化学的危険性	区分外		
	健康有害性	眼に対する重篤な損傷性及び眼刺激性	区分 2A	
	環境有害性	水生環境有害性 (急性)	区分 3	
		水生環境有害性 (長期間)	区分 3	
	※上記で記載が無い危険有害性は区分に該当しない			
GHS ラベル要素	絵表示			
	注意喚起語	警告		
	危険有害性情報	強い眼刺激。 水生生物に有害。 長期継続的影響によって水生生物に有害。		
	注意書き	屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。 本来の用途以外には使用しないこと。 適切な保護具 (手袋、ゴーグル等) を着用すること。 取扱後は手をよく洗うこと。 蒸気を吸入しないこと。 環境への放出を避けること。 子供の手の届かない所に保管すること。 内容物や容器を廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。		

3 組成及び成分情報				
単一製品・混合物	混合物			
危険有害成分 (危険有害不純物)	酸化チタン(IV) (無機系充填材に含有) ミネラルスピリット*, キシレン*, トリメチルベンゼン* (* : 高沸点炭化水素に含有)			
組 成	化学名又は一般名	濃度範囲 (wt%)	CAS 番号	官報公示整理 番号(化審法)
	ウレタン樹脂	45～55	登録	既存
	無機系充填材	30～40	登録	既存
	高沸点炭化水素	10～20	登録	既存

4 応急措置	
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動し保温、安静を保つ。 必要に応じ医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類を脱ぎ、触れた部分を水又は微温湯で石鹸を使って洗い落とす。
目に入った場合	清浄な水で15分以上洗眼し、眼科医の手当てを受ける。コンタクトレンズを使用している場合は固着していない限り、取り除いて洗眼する
飲み込んだ場合	水で口の中を清浄にし、直ちに医師の手当てを受ける。

5 火災時の措置	
消火剤	水・炭酸ガス・泡・粉末・乾燥砂
特有の危険有害性	樹脂の燃焼によりシアンガスの有害成分が発生する、又、樹脂中に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険がある。
特有の消火方法	可燃性のものを周囲から、速やかに取り除くこと。
消火を行う者の保護	適切な保護具（防護マスク等）を使用し風上から消火する。

6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業の際には、適切な保護具（手袋、防護マスク、ゴーグル）を着用する。
環境に対する注意事項	本製品を環境中（水域、土壌）に放出してはならない。
封じ込め及び浄化の 方法及び機材	回収、中和：本製品はペースト状で流動性が無いので、漏出の恐れは無いが、漏出物はウエスで拭取り、密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。 二次災害の防止策：火気厳禁の処置をとる。

7 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	技術的対策：周辺での火気の使用を禁止する。 換気の良い場所で取扱う。

取扱い	安全取扱注意事項：容器はその都度密閉する。皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。 接触回避：強酸化剤と混合接触してはならない。
保管	安全な保管条件：火気、熱源から遠ざけて保管する。 湿気を避けて直射日光が当たらない通風の良い屋内貯蔵所に保管する。 子供の手の届かない所に保管する。 混触禁止物質：強酸化剤と一緒に保管してはならない 安全な容器包装材料：移し変えてはならない。

8 ばく露防止及び保護措置

許容濃度	酸化チタン(IV)：4mg/m ³ (第2種粉塵：総粉塵) (原料メーカーMSDS：2013/4/10による) 高沸点炭化水素：25ppm (ACGIH) (トリメチルベンゼンを適用) (原料メーカーMSDS：2011/6/30による)
設備対策	火気厳禁の措置をとる。 排気の為の装置を設置する。
保護具	呼吸器の保護具：必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用。 手の保護具：必要に応じ手袋を着用する。 目の保護具：必要に応じ保護眼鏡を着用する。 皮膚及び身体の保護具：必要に応じ長袖を着用する。

9 物理的及び化学的性質

外観	物理的状态：ペースト状、色：表示色
臭い	石油臭
沸点、初留点及び沸騰範囲	高沸点炭化水素：162～192℃
引火点	47℃
爆発範囲	高沸点炭化水素：0.7～6.5vol%
蒸気圧	高沸点炭化水素：370Pa / 20℃
密度	1.28 / 23℃
溶解度	高沸点炭化水素：水に不溶
n-オクタノール/ 水分配係数	高沸点炭化水素：Log Pow=3.7～6.7
自然発火温度	高沸点炭化水素：296℃

10 安定性及び反応性

反応性	空気中の湿気と反応し硬化するが、通常の使用では危険な反応はない。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	強酸化剤との接触は避ける。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	シアンガス

11 有害性情報	
急性毒性	酸化チタン(IV) : LD ₅₀ (経口) >12000mg/kg : LD ₅₀ (経皮) >10000mg/kg 高沸点炭化水素 : LD ₅₀ (経口) >5000mg/kg
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	酸化チタン(IV) : 人によっては弱い刺激性がある。 高沸点炭化水素 : 皮膚に対する刺激性はない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	酸化チタン(IV) : 眼刺激性あり。 高沸点炭化水素 : 眼に対する刺激性はない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	高沸点炭化水素 : 感作性はないと思われる。
生殖細胞変異原性	高沸点炭化水素 : 変異原性はない。
発がん性	高沸点炭化水素 : 発がん性があるとは考えられない。
生殖毒性	高沸点炭化水素 : 発生毒物ではない。出生率の低下はないと思われる。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	高沸点炭化水素 : 蒸気、又はミストの吸入により、呼吸器系に刺激を引き起こすことがある。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	高沸点炭化水素 : 長時間/反復接触は、皮膚炎を引き起こす皮膚の脱脂の原因になる可能性がある。
吸引性呼吸器有害性	高沸点炭化水素 : 飲み込んだり、嘔吐した時に肺への吸引により、致命的な化学物質起因の肺炎を引き起こすことがある。

12 環境影響情報	
生態毒性	添加剤(ウレタン樹脂) : LC50=0.42-2.3mg/L (甲殻類材シジノコ 48hr) 高沸点炭化水素 : LL/EL/IL50=1-10mg/L 魚類/藻類
残留性・分解性	添加剤(ウレタン樹脂) : 急性分解性なし (BODによる分解度 12-13%) 高沸点炭化水素 : 容易に生分解できる
生体蓄積性	添加剤(ウレタン樹脂) : 生体蓄積性不明 高沸点炭化水素 : 潜在的蓄積性を有する
土壌中の移動性	高沸点炭化水素 : 水に浮かぶ。地面に吸収し移動性は低い
オゾン層への有害性	モントリオール議定書に記載されている物質の使用は無い

13 廃棄上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。 ・ 燃焼又は解体等により、樹脂に含まれる顔料が、吸入すると有害な粉じんとして飛散する危険があるので、取扱う際は、防護マスクを使用する。 ・ 洗浄処理した排水、焼却等により発生した廃棄物も、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法律に従って処理を行うか、専門業者に処理を委託する。 ・ 廃棄物の種類 : 内容物 [廃プラスチック類 (安定型産業廃棄物)] 	

14 輸送上の注意	
国連番号	非該当
品名 (国連輸送名)	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。
海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
航空輸送	航空法に定めるところに従う。

15 適用法令	
・ 消防法：指定可燃物 (可燃性固体類)	
・ 労安法：有機則 (第3種有機溶剤：ミネラルスピリット) 表示・通知義務対象物質 (酸化チタン(IV)：0～10wt%、ミネラルスピリット 10～20wt%、キシレン：0.1～0.3wt%、トリメチルベンゼン：1～10wt%)	
・ PRTR 法：非該当	
・ 毒物及び劇物取締法：非該当	
・ 大気汚染防止法：非該当	
・ 水質汚濁防止法：非該当	
・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律	

16 その他の情報	
出典	原料メーカーの(M) SDS N I T E の G H S 分類結果データベース
ホルムアルデヒド 放散量区分	(日本シーリング材工業会) ホルムアルデヒド汚染対策のための自主管理規定 J S I A - 0 0 1 0 1 8 F ☆ ☆ ☆ ☆ [カートリッジ]
その他	石綿の使用は無い。

【注意】

- ・ 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。尚、新しい知見により改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。また、本製品を本来の用途以外に使用しないで下さい。